



No.80

令和8年1月27日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

本

郷

こ

ど

も

園



元気に遊べる子 思いやりのある子 話が聞ける子



本郷こども園の
ホームページはこちらから

Contents



議会だよりアンケートは
こちらからも回答することができます



議会だよりの
バックナンバーはこちらから

新年の挨拶/特集	議長挨拶 / 町民の声 / 中学生議会	2
臨時/定例会議	条例改正・補正予算などを審議	6
活動報告	議員全員研修 / 委員会視察研修	10
一般質問	「3期目が終わるが、現在の心境は」など5人登壇	14
追 跡	子どもの遊び場整備・通学路の安全対策	19

関連記事 P20

議長年頭のご挨拶



おおい町議会議長

原田 和美

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、おおい町議会を代表いたしまして新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、平素からおおい町議会に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、議員一同深くお礼申し上げます。

本年も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

昨年来を振り返りますと、わが国全体で人口減少や少子高齢化、都市一極集中などによるさまざまな影響が顕在化し、おおい町においても人口の減少に伴い、生活基盤の支え手や地域活動の担い手に関係する地域社会の持続可能性が大きな課題として浮き彫りになりました。

そのような中でも、国内では、大阪関西万博の開幕が新しい時代の創造力や未来への希望を示し、AI技術の発展が、医療や教育、産業など私たちの身近な分

野で人々の暮らしを支える新しい力として期待されています。

半世紀にわたり、国のエネルギー政策に関わってきた我が町では、原子力発電はもとより、水素エネルギーという新たな分野においても社会や地域の未来に貢献する可能性を感じる年でした。

さて、おおい町議会では町民の皆さまの負託に真摯に応え信頼される議会となるよう、議会活動の活性化と見える化を進めています。

年間を通じて活動ができる通年議会を取り入れてから今年で4年目となりますが、本年も、活発な委員会活動により、町民の皆さまのご意見を伺いながら、暮らしやすく活気ある町をつくるための積極的な政策提言、提案に取り組んでまいります。

また、町民の皆さま方、若い方々に、政治や議会、町づくりに関心を持っていただけるような取り組みも重ねてまいりますので、本年も議会報告会や町内イベントの議会コーナーでお目にかかりご意見を伺うことを楽しみにしております。

結びに、新しい年が、町民の皆さまにとりまして幸せで実り多い年でありますよう、議員一同ご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

むらまつ えり
村松 栄理さん【鹿野】

- ①毎日笑顔を忘れず、心身ともに健康に過ごすことです。忙しい日々の中でも、小さな幸せや人とのつながりを大切にしながら、穏やかな一年にしたいと思います。
- ②将来、子どもを持つことを考えたとき、現在の部活動が地域クラブへ移行している中で、子どもたちが気軽にスポーツに親しめる環境が少なくなっているのではないかと不安に感じています。体を動かす楽しさや仲間と協力する経験は、成長期の子供たちにとって大切なことであり、子供たちがやりたいスポーツに取り組めるよう、地域クラブの種目や活動内容を充実させていただけると嬉しいです。

ふじはら たけひこ
藤原 猛彦さん【名田庄口坂本】

- ①実家が名田庄口坂本にあり、2年前に東京から帰ってきました。東京では持てなかったバイクを乗ることが楽しみで、大好きなV-MAXの中古を購入しましたが、調子が悪くあまり乗れていません。今年こそは完全修復してツーリングに出かけたいです。
- ②休日など仕事の合間に地元の営農組合を手伝っていますが、おおい町全体では若手の担い手が不足していると感じます。もっと若者が営農で活躍できる環境を醸成していかないと、このままでは田舎独特の田園風景を守れないと感じます。休日を利用して農業に携わる若者に対して何らかの支援策があれば、地域の農業が活性化するのではないかと考えています。

町民の皆さまからのひとこと

特集1

今号では、町民の皆さまに取材をし、次の2つの質問にお答えいただきました。

① 今年の目標や願い事

② 議会や町へのご意見

皆さまの声をお聴きし、議会活動に活かしていきたいと思います。



あら き れん や
荒木 廉也さん【13区】

- ①大飯スリーアローズの監督を引き受け、子どもたちに野球を通じて、目標に向かって努力することの大切さを学んでほしいです。目指せ県大会優勝！
- ②町として今後スポーツ少年団、中学校の部活にどの様に対応していただくのか不安に思い、子どもたちの将来のため、運営している組織の意見を取り入れてほしいと思います。



てら ざわ ひろすけ
寺澤 公祐さん【河村】

- ①早く第二青戸の大橋を作ってほしい。
- ②大島の集落にシカとイノシシが入り込んでいて、子ども達が小学校の登下校時によく見かけます。出会い頭に会って危害が及ばないか心配です。早急に対策をお願いします。
おおい町に住んでいて良かったと思えるような町独自の子育て世帯へのサービスを考えてほしいです。他の市町とサービスが似通っていて、おおい町に住むメリットが無いように感じています。



とき おか ひさたか
時岡 寿尚さん【尾内】

- ①親から田畑を引継ぎ、休日は少しの稲作と梅栽培等を行い自然と戯れています。の〜んびりマイペースでの農作業は運動不足解消やストレス発散にはうってつけの「アグリ・スポーツ」です。今年は新たに自然薯やレモン栽培にも手を伸ばし、町の特産品づくりと健康づくりの一石二鳥生活を計画中です。
- ②大飯地域の中心には佐分利川、名田庄地域の中心には南川がありますが、住民が川と親しむ機会が減っているように思われます。美しい川に関心をもち川辺を生かしたまちづくりはどうでしょうか？景観や親水性を考慮した自然と触れ合える憩いの水辺は、子どもからお年寄りまでがゆったりとした時間を感じられる癒しスポットになると思います。



よし た わ か な
吉田 輪佳奈さん【名田庄三重】

- ①町の研修を機に始めた養蜂が6年になります。養蜂を通して沢山の方々と出会うことができ「ハチミツがおいしい」と言って頂ける事が喜びです。このご縁を大切にしていきたいと思っています。
- ②おおい町は子育て支援/進学支援/高齢者支援が手厚く、とてもありがたいと思います。一方、地元で普通に就職する若い人への支援についてあまり聞きません。地域を支えてくれる若者への支援が充実するのいいと思っています。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

決 策 を 提 案



特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

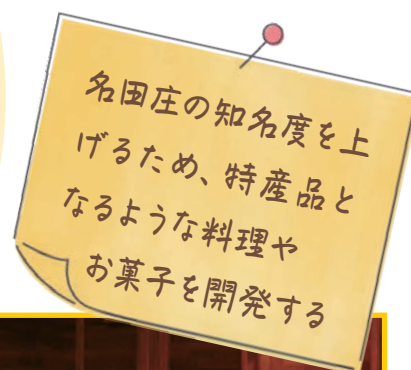
中学生議会は、議会のことを中学生に知っていただくことやふるさとの課題を発見し、その解決に向けて収集した情報や体験した内容をまとめて発表することをおして、ふるさとを愛する心をはぐくむことを目的に開催したものです。

今回は10月8日に名田庄中学校2年生が「中学生議会」を開き、3つのグループが次代を担う10代の目線で考えた「地域の課題解決策」を堂々と提案してくれました。

初めての議場に戸惑った様子でしたが、発表では元気よく議員に対し総合的な学習で生徒自らが見つけた課題に対し、解決策を考え、提案してくれました。

おい町議会では、提言いただいた若者の思いが町政に反映されるよう取り組んでいきます。

- ・おい町の特産品である自然薯と梅を使ったどら焼きを開発し、実際に作ることにした。
- ・改善点：1回目は自然薯パウダーの量が多かったのですごく粘り気が多くなってしまった。また、梅の量は少なく、風味が弱かった。
- ・2回目は自然薯パウダーの割合を減らし、梅チューブを増やして、梅をほぐしてあんこの中に入れた。
- ・実際に議員全員試食して、美味しかったとの感想が多かった。
- ・今後は更に改良して小浜市で試食会を行い、商品化につなげる予定。



議会コメント

今後の商品化を考えるならば、見た目やパッケージなどが大切となるので取り組んでほしい。試行錯誤重ねながら試作品の改良に役立てるなど、素晴らしい提案内容でした。

特集2

地域の課題解

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

自然グループ

名田庄の自然を守り広めたい



議会コメント

名田庄の環境に近い京都の鴨川を選んだことや実際に自然環境を調べたことに中学生の目線と行動力を感じました。

- ・名田庄にはきれいな自然があるけれどその自然を知っている人が少ない。
- ・名田庄の自然を守り広めたい。
- ・【これまでに行った活動】
京都の鴨川の生き物 管理調べ
名田庄の自然の生き物 管理調べ
鴨川の管理と名田庄の管理との比較
- ・【今後、行う活動】
イラストマップの作製、ゴミ拾い



名田庄万博グループ

観光客をふやそう

- ・名田庄の観光客を増やすオリジナルキャラクターを作る。
- ・京都へ観光に行った。金閣寺の観光客がすごく多かった。よーじやさんで店内の様子やキャラクターのよじこの話をきいた。
- ・ここで学んだことは、SNSを使い知名度をあげていた。また、新しいキャラクターを作っていて、よじこの関連商品がたくさんあった。
- ・キャラクター作りに挑戦！ キャラクターをシールにして作った。完成したジーちゃんを名田庄道の駅よって亭においてもらい、配ってもらう。
- ・11月に行われた自然薯祭りでジーちゃんの一着くじを作って公開する。



自然薯のジーちゃん



議会コメント

名田庄の特徴を活かしたキャラクターを考えて実際にシールを制作した行動力には感心しました。

令和7年10月臨時会議 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
報告第13号	専決処分の報告について (工事請負変更契約の締結について (大飯中学校校舎等改修工事))	—	承認	P7
報告第14号	専決処分の報告について (おおい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める 条例等の一部改正について)		承認	
議案第63号	工事請負契約の締結について (トンネル照明設備更新工事 (小堀トンネル・高森トンネル))		〈全協〉 原案可決	

令和7年12月定例会議 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
議案第64号	おおい町観光交流基金条例の制定について	〈産建〉	原案可決	P7
議案第65号	おおい町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の制定について	〈総務〉	原案可決	
議案第66号	おおい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部改正について		原案可決	
議案第67号	令和7年度おおい町一般会計補正予算 (第4号)	〈予算〉	原案可決	P8
議案第68号	令和7年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第2号)		原案可決	
議案第69号	令和7年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)		原案可決	
議案第70号	令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正予算 (第3号)		原案可決	
議案第71号	工事請負変更契約の締結について (保健・医療・福祉総合施設 空調・給湯・照明設備等改修工事)	〈総務〉	原案可決	P9
議案第72号	指定管理者の指定について (おおい町保健・医療・福祉総合施設 (保健福祉センターを除く))		原案可決	
議案第73号	指定管理者の指定について (おおい町デイサービスセンター)		原案可決	
議案第74号	指定管理者の指定について (おおい町岩の鼻農村公園)	〈産建〉	原案可決	P9
議案第75号	指定管理者の指定について (おおい町うみんぴあ大飯マリーナ)		原案可決	
議案第76号	指定管理者の指定について (おおい町あかぐり苑地)		原案可決	
議案第77号	指定管理者の指定について (おおい町名田庄観光館)		原案可決	
議案第78号	指定管理者の指定について (おおい町八ヶ峰家族旅行村)	〈総務〉	原案可決	P7
議案第79号	おおい町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の 一部改正について		原案可決	
議案第80号	おおい町一般職の職員の給与に関する条例及びおおい町会計年度任用 職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P8
議案第81号	令和7年度おおい町一般会計補正予算 (第5号)	〈予算〉	原案可決	
議案第82号	令和7年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号)		原案可決	
議案第83号	令和7年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算 (第2号)		原案可決	
議案第84号	令和7年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)		原案可決	
議案第85号	令和7年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算 (第1号)		原案可決	
議案第86号	令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正予算 (第4号)		原案可決	
議案第87号	令和7年度おおい町下水道事業会計補正予算 (第2号)		原案可決	
議案第88号	令和7年度おおい町一般会計補正予算 (第6号)		原案可決	
議案第89号	令和7年度おおい町一般会計補正予算 (第7号)		原案可決	
発議第2号	地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書について	—	原案可決	P9
発議第3号	おおい町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の 一部改正について	—	原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋啓	今川	猿橋巧
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席 (原田議長は採決に加わらない)

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

10月臨時会議
令和7年10月27日

審議内容

10月臨時会議に付議された、報告2件、議案1件を審査した。

報告事項

報告事項を承認

報告13号

専決処分分の報告について
(工事請負変更契約の締結について (大飯中学校校舎等改修工事))

主な変更内容

校舎南側の転落防止柵を延長するなど、工事を増工するもの。

変更契約金額

82万2千円

変更後契約金額

3億7323万8千円

契約の相手方

株式会社 時岡組

【全会一致・承認】

報告14号
専決処分分の報告について
(おい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について)

「児童福祉法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、所要の条例改正を行うもの。

【全会一致・承認】

工事請負契約を可決

議案審議

議案63号 (全協)

工事請負契約の締結について
(トンネル照明設備更新工事
(小堀トンネル・高森トンネル))

照明器具をLED照明に取り替えるとともに、照明分電盤及び調光装置の更新を実施するもの。

契約金額

9093万7千円

契約の相手方

株式会社 安田電気工業

おい町営業所

【全会一致・可決】

12月定例会議
令和7年12月2日・19日

審議内容

12月定例会議に付議された、議案26件、発議2件を審査した。

議案審議

条例の制定と改正を可決

議案64号 (産建)

おい町観光交流基金条例の制定について

おい町複合型交流施設第2期改修運営PFI事業契約において、運営事業者から支払われる「納付金」を町全体の観光振興に関する事業に充てるため基金を設置する。

主な質疑

基金に積み立てるのではなく、一般財源として毎年度有効に活用すべきでは。

単年度事業だけでなく、複数年事業

答

にも対応できるよう、基金を設置することとした。

基金を処分(運用)する場合は、意見を聞くために第三者的な組織を設置する考えか。

運営事業者などとの協議は考えているが、外部からの意見を聞くことは、現時点では考えていない。

【全会一致・可決】



おい町複合型交流施設

議案65号 (総務)

おい町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

令和8年度から乳児等通園支援事業を実施するにあたり、当該基準について規定するため、条例を制定するもの。

主な質疑

施設の改修などを行う場合、国の補助制度はあるのか。

施設の改修や備品の購入で私立3分の2、公立3分の1の補助がある。

【全会一致・可決】

議案66号 (総務)

おい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

利用乳幼児に対する健康診断の全部又は一部を行わないことができる条件として、母子保健法に

基づく乳幼児健診が行われた場合を追加するもの。

【全会一致・可決】

議案79号 (総務)

おい町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

期末手当の支給割合を人事院勧告などに準じて引き上げるもの。

【全会一致・可決】

議案80号 (総務)

おい町一般職の職員の給与に関する条例及びおい町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

人事院及び福井県人事委員会の勧告などにに基づき、給料表、期末手当及び勤勉手当などを改定するもの。

【全会一致・可決】

補正予算を可決

●議案67号〈予算〉

令和7年度おおい町一般会計補正予算（第4号）

5660万2千円増額

【主な歳出内容】

○高齢者福祉施設等整備補助事業

1195万8千円増額

○農業用施設維持補修事業

435万4千円増額

○渇水対策事業

520万5千円増額

○おおい町観光交流基金積立事業

525万8千円増額

○排水路管理事業

382万2千円増額

主な質疑

問 農業用施設維持補修事業の渇水対策

は応急対策であるが、恒久対策が必要ではないか。

答

恒久対策については、水源の調査、用地の確保、地元分担金

や維持管理費用などの関係から難しい。近年の高温少雨の状況もあることから、気象状況に応じた対策を行っていく。

問 観光交流基金は、うみんぴおおだ飯エリ

ア以外でも観光に寄与する事業なら使えるのか。

答 条例において、うみんぴおおだ飯エリ

アの事業、おおい町全体の観光振興施策と使途を規定している。町全体が

賑わっていくことで集客効果が生まれ、相乗効果

でエリア全体が盛り上がっていくことを目的としている。

【全会一致・可決】

●議案68号〈予算〉

令和7年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計

補正予算（第2号）

149万6千円増額

【賛成多数・可決】

●議案69号〈予算〉

令和7年度おおい町国民

健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

549万6千円増額

【賛成多数・可決】

●議案70号〈予算〉

令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正（第3号）

1816万3千円増額

【全会一致・可決】

補正予算（その2）を可決

職員手当などの人件費

について、人事院の勧告などに基づき、所要の調整を行うもの。

●議案81号〈予算〉

令和7年度おおい町一般会計補正予算（第5号）

4957万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案82号〈予算〉

令和7年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

44万7千円増額

【全会一致・可決】

●議案83号〈予算〉

令和7年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第2号）

143万4千円増額

【全会一致・可決】

●議案84号〈予算〉

令和7年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

88万2千円増額

【全会一致・可決】

●議案85号〈予算〉

令和7年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）

769万3千円増額

【全会一致・可決】

●議案86号〈予算〉

令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正予算（第4号）

88万2千円増額

【全会一致・可決】

●議案87号〈予算〉

令和7年度おおい町下水道事業会計補正予算（第2号）

132万1千円増額

【全会一致・可決】

補正予算（その3）を可決

●議案88号〈予算〉

令和7年度おおい町一般会計補正予算（第6号）

1102万6千円増額

福井県知事選挙に係る費用を計上するもの。

【全会一致・可決】

補正予算（その4）を可決

●議案89号〈予算〉

令和7年度おおい町一般会計補正予算（第7号）

1億571万3千円増額

物価高に対する支援策として、子育て世帯への給付のほか、町民1人当たり1万円分の「うみ

りんカードポイント」を追加で付与する費用を計上するもの。

【全会一致・可決】

工事請負（変更）契約を可決

●議案71号〈総務〉

工事請負変更契約の締結

について（保健・医療・福祉総合施設空調・給湯・照明設備等改修工事）

【主な変更内容】

空調設備室内機の干渉する既存間仕切りの撤去と復旧、エントランス器具の落下防止措置、空調機の数量及び仕様変更などによるもの。

・変更契約金額

1548万8千円

・変更後契約金額

7億3056万5千円

・契約の相手方

株式会社荒木

【全会一致・可決】

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

指定管理者の指定を可決

●議案72号〈総務〉

指定管理者の指定について（おい町保健・医療・福祉総合施設（保健福祉センターを除く））
・公益社団法人
地域医療振興協会

主な質疑

問 なごみ診療所が開
設してから医師が
10人前後入れ替わってい
る。定着を図るべきでは
ないか。

答 地域医療振興協会
からの医師は定着
しているが、県派遣の医
師の期間は短い。

【全会一致・可決】

●議案73号〈総務〉

指定管理者の指定につい
て（おい町デイサービ
スセンター）
・社会福祉法人
おい町社会福祉協議会

【全会一致・可決】

●議案74号〈産建〉

指定管理者の指定につい
て（おい町岩の鼻農村
公園）
・三重区

【全会一致・可決】

●議案75号〈産建〉

指定管理者の指定につい
て（おい町うみんぴあ
大飯マリーナ）
・株式会社
マリーナジャパン

主な質疑

問 近年、町民の利活
用が進んでいない
が、今回の公募でその部
分を促進する要項は設定
したのか。

答 募集要項に含まれ
ており、これまで
からもヨット乗船体験な
ども実施されている。今
回については、それ以上
に町民を巻き込んだイベ
ントを企画されている。

【全会一致・可決】

●議案76号〈産建〉

指定管理者の指定につい
て（おい町あかぐり苑
地）
・株式会社 おおい

【全会一致・可決】

●議案77号〈産建〉

指定管理者の指定につい
て（おい町名田庄観光館）
・株式会社 名田庄商会

主な質疑

問 この施設は年数が
経過しているが、
今後、改修などが必要に
ならないのか。

答 今すぐに改修が必
要と考えておらず、
今後5年は現状を保ちな
がら施設運営をしたい。
将来的には類似施設との
統廃合を検討していく。

【全会一致・可決】



名田庄観光館

●議案78号〈産建〉

指定管理者の指定につい
て（おい町八ヶ峰家族
旅行村）
・八ヶ峰家族旅行村
管理組合

主な質疑

問 八ヶ峰家族旅行村
管内で、民間事業
者によるサウナ事業が行
われているが、公衆浴場
法に違反していないのか。

答 不特定多数の人が
利用するのではな
く、事前の予約制で特定
の人が利用すること許
可が下りていると聞いて
いる。

【全会一致・可決】



八ヶ峰家族旅行村

発議を可決

●発議2号

地方公共団体情報システ
ムの標準化に関する意見
書について

提案理由

運用経費について試算
根拠を明確にすることや、
経費削減のための対策を
講じたうえで、削減が実
現しない場合の財政措置
として、地方交付税措置
によらない直接的な支援
となる補助制度を設ける
ことなどを求める意見書
を関係行政庁に提出する
もの。

【全会一致・可決】

●発議3号

おい町議会議員の議員
報酬、費用弁償等に関す
る条例の一部改正について

提案理由

人事院勧告などを踏ま
えて、常勤の特別職の期
末手当の支給割合が改定
されるに伴い、議会

議員の期末手当について
も同様の改定を行うも
の。

【全会一致・可決】

個人情報保護制度の
実施状況について

おい町議会では、議
会が保有する個人情報
が適正に取扱われること
を目的として、おい町議
会個人情報保護条例を施
行しています。

令和6年度の運用実施
状況は次のとおりです。

個人情報保護条例によ
る運用実施状況

◎自己情報開示等の状況
0件

地層処分文献調査について

期 日 令和7年11月6日(木)

場 所 佐賀県 玄海町議会

原子力発電所所在地である玄海町が、高レベル放射性廃棄物の地層処分の第一段階である文献調査を受け入れたことから、玄海町議会の対応について研修を行いました。

文献調査の受け入れについては、町内の民間団体から議会に受け入れの請願があり、玄海町議会では、原子力対策特別委員会に付託され、慎重な審査の結果、採択され、本会議でも採択(賛成多数)となりました。

その後町長が正式に受け入れを表明して現在まで住民との対話集会が3回開催されています。

議会での受け入れ賛成議員は、最終処分場の問題は「避けることのできない課題であり、むしろ自ら発信し、全国的な問題として提起すべき」との主張でした。

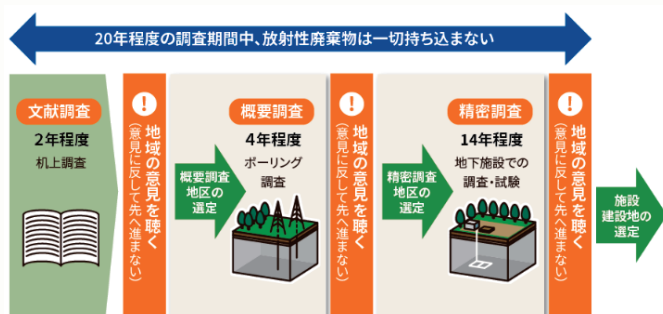
また、反対の議員からは、「最終的に責任を持つ覚悟が本当にあるのか懸念がある」との主張でした。双方とも地域の将来を見据えて、

慎重な姿勢を示されました。

議会として国の補助金が目的ではないとの共通認識を強調されました。

常に住民と議会、事業者との意思疎通が図られており、文献調査の受け入れに特に大きな反対はなかったとのことです。

最終処分場については、原子力発電の持続には避けることのできない課題と考えています。



地層処分地の選定プロセス

高レベル放射性廃棄物の地層処分について

原子力発電対策特別委員会

開催日時

令和7年11月5日(水)～7日(金)

開催場所

佐賀県玄海町

今回、原子力発電対策特別委員会では、原子力発電環境整備機構 玄海出張所と九州電力玄海発電所の視察研修を行いました。

① 原子力発電環境整備機構 玄海出張所

原子力発電環境整備機構(NUMO)は、原子力発電で発生する高レベル放射性廃棄物を地層処分するための調査・事業を行う機関です。NUMOの役割は、高レベル放射性廃棄物を地下300mより深く安定した地層に安全に処分する事業を進めることです。

実際に文献調査が行われる候補地は、自治体が応募・受け入れを表明した地域の3ヶ所のみです。今後、国としては10ヶ所程度を見込んでいると説明を受けました。

② 九州電力 玄海発電所

大飯発電所と状況が同じで、玄海発電所の1・2号機は、廃炉が決定し、3・4号機が稼働しておりそれぞれ約118万KWの発電規模です。今回の視察研修では、PR館が特に印象に残りました。

原子力発電のしくみや安全対策を原子炉格納容器の実物大の模型やパネル、映像で、やさしく解説されており、わかりやすい展示となっており、見学や学習ができる中規模の施設です。

また、玄海発電所に特化して、3・4号機の概要や、事故防止・災害対策などを具体的に紹介されていて、子どもから大人まで学べる内容で、社会科見学や学習利用が多いとのことでした。

地域との関わりでは、防災、環境対策、地域支援の取り組みの説明がなされており、誰でも気軽に立ち寄れる施設となっています。



子育て支援や関係人口創出について

総務常任委員会視察研修

【期 日】

令和7年10月14日(火)～15日(水)

【場 所】

石川県かほく市「かほく市役所」
長野県小布施町「小布施町役場」
まちなか散策

【参加者】 委員 7名

「かほく市役所」 子育て支援に関する取り組みについて

かほく市は、石川県のほぼ中央に位置し、人口は、令和7年9月時点で36,347人となっています。

若者や若年世帯の定住促進による定住人口増加プロジェクトを実行されています。また、出産、子育て支援策として経済的支援に積極的な自治体として、視察研修先に選定しました。

定住促進事業として、「若者マイホーム取得奨励金」制度、最大200万円。「新婚さん住まい応援事業補助金」制度、賃貸住宅補助月額1万円となっています。



子育て支援事業の、経済的支援として不妊治療費助成の拡充・不妊治療費助成制度の創設を実施した結果、不妊治療による出生数は令和6年実績で町内出生数の10%、36人となりました。また、子どもの相談体制の一極化による水先案内人を配置し、保育の質の向上を目指すなど、それらの定住促進支援策の結果、市内での出生数より小学校入学数が毎年60人前後の増加となっています。

「小布施町役場」 関係人口創出に係る取り組みについて

小布施町は、長野県の北東部に位置し、県内で最小面積の町。人口は、令和7年1月時点で11,000人となっています。

関係人口創出への取り組みが顕著な自治体ということで視察研修先として選定しました。

小布施のまちづくりを 段階的に実施

第一ステージとして、歴史を生かしたまちづくりでは、美術館、地場産業の菓子店の活性化、町並修景事業「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」、花のまちづくり「オーブンガーデン105軒」を実施。

第二ステージとして、2つの急務「財政の健全化・行政改革」、2つの旗印「交流・4つの協働（町民、大学、地場産業、志の高い県外企業との協働）」を実践。

第三ステージとして、未来の担い手の育成では、協働人材との接点づくりの「小布施若者会議」（200人全員ホームステイ）の開催、ミラ

イ構想カレッジ、地域おこし協力隊、小布施サマースクール、若者によるまちづくり、オール小布施環境・防災先進都市づくりを実践。

このようなまちづくりの結果、名高い観光名所や自然資源が無い小布施町に観光客が100万人訪れ、小布施に関心のある若者や移住者が増え、町内での出生数より小学校入学数は毎年25人前後の増加となっています。



特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

町の産業振興のため学ぶ！

産業建設常任委員会

【期 日】

令和7年11月27日(木)～28日(金)

【場 所】

- ・丹波篠山市 里地里山問題研究所
- ・明日香村 明日香村役場
- ・彦根市 農研機構及び
フクハラファーム

【参加者】 委員 7名

産業建設常任委員会では町の産業振興に向けて、町に政策提言するために調査研究を行っています。今回の研修は、おい町の課題となっています。猿害対策や農業担い手の課題、空き家の活用などの調査研究のため、それぞれの課題に向き合い、成果を上げている先進地に出向き、提言の一助となるよう研修を行いました。

【里地里山問題研究所】

大事に育てた作物を猿に食い荒らされる被害に腹を立てている皆さまの解決策はあるのか！

研究所代表の鈴木氏から実際に取り組んでいる事例やその効果の講義を受けました。



里地里山問題研究所



明日香村役場

【重要ポイント】

悪さをする猿は一刻も早く捕獲してほしい！と誰もが思うところですが、やみくもに捕獲しても猿の個体数は減らず、少数の群れが合体して頭数が増えるそうです。

それを防ぐためには、個体数管理の計画を立て「群れの行動範囲」「群れの個体数」を把握することが重要です。都道府県や市町村、地域集落がそれぞれ役割分担をして連携しながら適切に捕獲していくことで、猿被害が軽減できるそうです。

群数や個体数の把握にはGPSを活用した追跡が必須であり、県や市町をまたいで移動することから、広域で取り組む必要があります。

おい町ではそのような管理ができていないため、今後の課題と考えています。

【明日香村役場】

増え続ける空き家を活用し、地域の振興施策を打ち出すためには何が必要なのか。明日香村役場の説明を聞きました。

明日香村は「明日香法」というものがあり、村全体が歴史的風土特別保存地区に設定されています。そのため新たに建物を建てる場合には意匠形態の規制がかかることから、古民家を活用した店舗などが多くあり、古民家を再生して創業する事業者も多く、地域振興に繋がっていると説明を受けました。

また、村ならではの文化資源を生かしたまちづくりが展開されており、空き家となっていた築150年の古民家を「登録有形文化財ホテル」として開業しています。

明日香村は日本のはじまりの地として、古代文化に触れられる強みを生かした取り組みが魅力でありました。

おい町も独自の強み、例えば「子ども子育て応援日本一の町」として、空き家の活用が少しでも進むよう、あらゆる可能性を模索しながら、当委員会では議論をしていきたいと考えています。

【農研機構及びフクハラファーム】

農繁期の忙しい時期に、少しでも作業の効率化を目指し、反収アップにつながる乾田直播。そのような取り組みを共同でされている、農研機構の岡本氏とフクハラファームの皆さまから講義を受けました。

今回の乾田直播栽培は、田植えをするか、種苗を乾いた土に直播するかの違いであり、6月には入水して従来通りの水田管理が必要のため、渇水対策になる栽培方法ではありませんでした。

乾田直播の利点は一人当たりがこなせる農地面積を増やすことができ、規模拡大を図れること。また、苗代が節約できるため収益性の向上も図れるということです。

今年は反収12.7俵の実績であり、心配される雑草の問題も適切に工程管理すれば気にならないレベルだということです。

今後も新たな技術を追跡していきます。



フクハラファーム

～身近な議会を目指します～

町民文化祭・うみんぴあフェスタ・ 里山まつりに議会も参加しています。

おい町議会では、町民の皆さまに信頼される議会を目指し、議会活動を知っていただく取り組みを進めています。町民文化祭・うみんぴあフェスタ・里山まつりでは「議会コーナー」を設置しました。

立ち話から、町の話へ



予行練習しました！



来場者アンケートより抜粋（どんな反応かドキドキ…）

- ・優良企業を誘致して活気ある幸せな町にしてほしい
- ・介護職の給料、手当の増額で若い世代が働ける環境を目指してほしい
- ・デマンドバスの利用が今のままでは厳しいので1回100円になりませんか
- ・学校の体育館にエアコンをつけて下さい

ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

町政ことが聞きたい！

12月定例会議では、5人の議員が一般質問を行いました。

3期目が終わるが、現在の心境は

町長 4期目の町政運営に向けてチャレンジしたい



ほそかわ まさひろ
細川 正博

問 3期目の公約として「地域の未来を拓く」「産業の未来を拓く」を掲げましたが、その取り組みの成果は。

答 (町長) 各区や団体の新たなチャレンジを支える制度を再構築し、町内の様々な有志や団体による社会貢献活動に加えて「子ども食堂」といった幅広い年代層を対象とした新たな活動も芽生えた。

「産業の未来を拓く」については、しごとみら

い産業団地の完成と分譲を開始し、最初の進出企業として株式会社TVE

が決定し、そのほか植物工場2社が操業を開始した。また、新規店舗の

創業では、チャレンジショップをはじめ起業促進支援事業において28店舗が開店し、町の活性化となっている。

問 「こども・子育て応援日本一」その取り組みの成果は。

答 (町長) 新たに入学等応援給付金制度を創設し、入学などの準備による保護者負担の軽減を図った。

また、保育料の第一子からの無償化や、物価高騰に伴う小中学校給食費

に対する町費補助の増額、さらに高校等通学費助成や大学生などへの進学サポート給付金において、対象者の拡充を図った。

問 一期4年の中で、地域の課題や社会情勢が刻々と変化をするなか、取り組んだが十分な成果や効果が得られなかったものなどあると思うが、現在の心境は。

答 (町長) 町の将来像構築に向けて多くの事業を推進してきたが、日本の社会構造(人口減少や人口流出、商圏の縮小)にあらがう必要があり、政策の効果が半減してしまうことへの義憤を感じている。

町の魅力と資源を最大

限活用して都市に負けない生活基盤と人生を謳歌するにふさわしい、おいしい町の生活環境をさらに向上させる必要があり、賛同とご支援をいただければ、4期目の町政運営に向けてチャレンジしたい。

県道坂本高浜線の課題

問 大滝地係において現在片側交互通行となっているが、その原因と復旧時期は。

答 (町長) 融雪の影響と思われる落石が発生し、また斜面上部に露岩が確認されている。

工事については、12月中旬から3月末までに、施工延長約60mのうち、約30mの一部区間の工事に着手する。残りの約30mは、来年度早期の復旧に向け、予算確保などに努めている。

問 名田庄側の石山トンネル出口は、見通しも悪く、出口からカーブになっている。大型車などの事故を未然に防止する具体的な対策が必要。

答 (建設課長) 道路線形においても道路構造成の規定を満足しているため、県は改良や拡幅をすることは考えていない。



問 トンネル出口からカーブが始まると、大型車だとフロント部分が中央車線をはみ出してくる。大型車とのすれ違いを安全に行うためには、トンネル出口からある程度の直線が必要と考える。事故リスク回避

考える。事故リスク回避

の観点から再度県に要請するべき。

答 (建設課長) 名田庄地区区長連絡協議会からも同様の指摘があり、普段利用される方々からの指摘ということと理解している。規定は規定として、そのような道路状況であるという現状の把握や検証なども含め、必要な対策について要請していく。

問 坂本高浜線では通信圏外区間があるためは正が必要。

答 (副町長) 通信事業者からは、現状では早急な対応は難しいと回答がある。一方で、不感地帯解消と災害対応強化の取り組みとして「スマートフォンと通信衛星を直接つなぐ新たな通信サービス」が、一部事業者で開始されているため、通信環境の改善を期待する。

期待する。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

SEE SEAPARKの課題は

町長 来場者の減少、収益の低下や施設の運営における採算性悪化など



ひろみち 道 浩
やしき 敷 屋

問 うみんぴあエリアのこれまで12年間の整備実績をどのように総括しているのか。

答 (町長) いくつもの量販店が開業したことにより令和6年度は、年間35万人が来場しており、エリア一帯の新たな賑わいの中心として定着しつつある。

問 残り1区画となった用地の進捗は。

答 (じょうと創生室長) 現在まで複数社から問い合わせがあるが、うみんぴあ大飯内の各施設との競合を避ける必要があったことから、町が思うような事業者の誘致には至っていない。

問 SEE SEAPARKの現状と課題は。

答 (町長) 町の玄関口として各種のイベントや催し物が開催され、多くの来場者があることや、中・高生の自主学習の場としても活用されていて、町民の方々の利用も増えてきている。一方、核テナントの撤退や店舗の入れ替わりによる業態変化、季節変動により来場者の減少、収益の低下や施設の運営における採算性悪化などの課題も認識をしている。

問 長井浜の現状と活用状況、抱える課題は。

答 (商工観光課長) 海水浴以外では、マリンスポーツ体験のほか、グラウンド・ゴルフやアウトドアイベントなどにも活用しているが年間をとおした活用には至っていない。

問 リプレースについての考えは。

答 (町長) 1・2号機が既に廃炉となった大飯発電所においては、国の方針に則り、おのずと候補地の一つとして今後、検討されるものと理解をしている。



問 原子力政策における実績と課題は。

答 (町長) 平成29年度の大飯発電所3・4号機再稼働理解断と、1・2号機廃炉への対応が2大トピックスであったと感じている。今後とも町民の安全安心の確保を大前提として、原子力行政に取り組んでいく。

問 中塚町長の原子力行政の実績と今後について伺う。

答 (町長) バックエンド対策への考えは。

問 「わかさいくる」の現状と今後の課題は。

答 (町長) バックエンド対策への考えは。

問 新たな政策専門ポストを設けるべきではないか。

答 (町長) 本町の組織規模を踏まえる

問 行政組織の強化策を提案

答 (町長) 「わかさいくる」の現状と運営上の



課題は。

答 (商工観光課長) 「わかさいくる」

は、国のナショナルサイフルートの指定を受けることを目標に、受け入れや走行環境の整備のほか、イベントの開催による国内外への情報発信に力を注いでいる。運営上の課題は、町内を走行する距離と時間が短いため、いかにうみんぴあエリア内で滞在し、町のPRに繋げていくかが、課題であると認識をしている。

人身被害を及ぼす場合のクマ対策は

農林水産課長

緊急銃猟時は「警察官職務執行法」に基づく発砲許可により迅速に対応する



寺井 義孝
てらい よしたか

問 当町における、クマの出没状況は。

答 (農林水産課長) 近年、全国的な傾向と同様に増加傾向にあり、警戒を要する状況にある。

問 出没情報確認後の対応方法は。

答 (副町長) 平日、休日、昼夜を問わず連絡が入る体制を取っている。情報を受けた場合は、担当課から関係機関との情報を共有し、告知放送などにより、住民への注意喚起を行っている。

る。教育委員会では、学校付近で目撃があった場合は、児童生徒への注意喚起と保護者への連絡、教員による登下校指導や送迎の呼びかけを実施している。

問 クマが人身被害を及ぼす可能性がある場合の対応は。

答 (農林水産課長) 町長の判断により、外部の捕獲者に委託して、銃器による捕獲ができる「緊急銃猟制度」の活用については対応マニュアルの整備中であり、それまでの間は、「警察官職務執行法」に基づく発砲許可により対応する。



関西電力株が行う
信託資金の活用方針について

問 信託資金の開始時期や仕組み、どのような事業に活用するのか。

答 (町長) この仕組みは、事業者が地域振興などの取り組みを継続的に協力するため、寄付を行うもので、開始時期は検討中と聞いている。活用事業は国主催の「共創会議」で議論している取り組みを基本としているが、運用にあたっては、県が全体の調整を行う方向性が示されていることから、立地町の意向が尊重されるよう求めている。

問 信託財産を活用予定の共創会議において、町はどのような取り組みを予定しているのか。

答 (町長) 町として具体的に提案している事業は、地域医療の充実策、地域交通の維持、充実策、うみんぴアエリアの賑わい創出、道路などのインフラ整備などである。



問 共創会議は20年から30年先を見据えた取り組みであり、社会情勢の変化により取り組み事業を追加変更するのか。

答 (町長) その時々状況に応じて、追加変更を行い、この仕組みを有効に活用していく。

問 資金を活用できるのは「県、立地町等」となっているが、「等」にはどのような団体が含まれるのか。

答 (町長) 「等」には、周辺市町の観光協会、寺社仏閣、自治会などの団体が想定されており、立地以外の市町は、県が代理申請すると伺っている。

問 各集落の寺社などの改修にも資金は活用できるのか。

答 (町長) 民間事業者の制度であり、可能であると認識している。

問 申請された案件を審議する第三者機関に、町の実情を理解された方が必要では。

答 (町長) 審査の独立性は理解するが、机上の空論でなく、事情を理解して判断されることが重要である。

夏の水不足に伴う水稲被害の状況について

問 夏の水不足に伴う被害結果や、国などの補助制度の活用状況は。

答 (農林水産課長) 全体的な収量は平年よりやや多かったが、「白未熟粒」や「不稔」などにより、早生品種において品質低下が見られた。補助については、県の補助制度を活用し、水中ポンプの設置、資機材のリース、購入の補助を設けている。

問 夏の水不足を踏まえた対応は。

答 (副町長) 水不足に対する今後の方針は、既存施設の機能維持に努め、限られた水資源の有効活用と、気象に関する情報を把握し、早期の渇水対策を講じていく。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

デマンド交通施策の充実は

総務課長

高齢者を含めた交通弱者の生活利便性の向上を図る



おだに かずえ
尾谷 和枝

問 デマンドバスの町外への実証運行状況は。

答 (総務課長) 6ヶ月間で、大飯地域から高浜町区域への利用者数は、行きは延べ37人で、帰りは延べ38人。名田庄地域から小浜市区域の谷口バス停へは、行きの利用者数は延べ15人で、帰りの利用者数は延べ36人である。

問 この数字をどのように捉えているのか。

答 (総務課長) 思いのほか少ない利用者数だと思っている。アンケートの集計結果を踏まえ、要因などの分析を行う。

問 予約方法の改善や、支払い方法の面でチケット制度など検討しているかどうか。

答 (町長) 路線バスやスクールバスの運行、高齢者を含めた交通弱者の生活利便性の向上を図る政策が必要だという認識は持っている。今回のアンケート結果や、只今の提案を含め抜本的に取り組みたいと思っている。

こども誰でも通園制度について

問 現在の未通園児の一時預かり制度と、こども誰でも通園制度の違いは。

答 (住民窓口課長) 一時預かり制度は、保護者の就労や疾病、育児疲れの解消など必要性に対応するもので、こども誰でも通園制度は、子どもの健やかな育ちを応援することを主な目的とした、利用の理由を問わない制度となっている。いずれの制度も、保育園に通っていない子どもで生後6ヶ月から利用ができるが、一時預かりが小学校入学前までに対し、こども誰でも通園制度は満3歳未満までで、一月の利用時間の上限が10時間となっている点が異なっている。

問 各家庭の状況が複雑化していて一時保育の需要は増える可能性はあると思うが、町の認識とニーズ把握は。

答 (副町長) 本町において待機児童はなく、保育園に通っていない子どもについても、一時預かりで対応できる状況を整えている。さらに、第2子以降の生後8週間から満3歳未満の低年齢児の在宅育児を行っている家庭は、条件付きで児童1人当たり月額1万円を支給している。

こども誰でも通園制度は、来年度名田庄こども園で2歳児のみの実施を予定している。

給食無償化と食育について

問 地元食材の提供や食育への取り組みは。

答 (学校教育課長) 年間を通じて米や野菜、果物、水産物など、町内産の食材を積極的に活用して、子どもたちが日頃から地域の農産物や水産物に触れ、地元の魅力を感じながら食に向き合えるよう工夫している。また、給食を教育の一環と捉え年間を通じて多様な食育の取り組みを進めている。

問 給食無償化により食育面が棚上げされないか危惧している。本町の給食費に関する現状と今後の方向性は。

答 (教育長) 令和7年度から小・中学校の給食費を月額3,000円とし、物価上昇で

も保護者負担を増やさず、必要な食材については町が責任を持って確保する方針としている。無償化の実施にかかわらず、児童・生徒や保護者の食育への関心が薄れることのないよう、より分かりやすく効果的な形となるようブラッシュアップを図りながら取り組んでいく。



ふくいサーモンを使った給食

有害鳥獣への対策と充実について

農林水産課長

緊急銃猟対応マニュアルの整備を進め、
報奨金制度の見直しを検討する



さるはし 猿 橋 たくみ 巧

問 駆除を担う猟友会などの組織体制について現状と方向性は、

と、捕獲駆除などの報酬

答 (農林水産課長) 緊急銃猟制度に

問 鳥獣保護管理法の改正を受けガイドラインが公表されたが、

本町のマニュアルの作成状況とその内容は、

答 (農林水産課長) 町において緊急銃

猟対応マニュアルの整備を進めている。県が開催するツキノワグマ出没対策連絡会で共有される最新の知見や、県警や猟友会などとの実地訓練を通じて得られる教訓、安全確保上の留意点なども反映し、より実践的な内容となるよう慎重に進める。

町の報奨金制度の見直しを検討する必要があると認識している。

北陸新幹線小浜・

京都ルートの

課題は

問 北陸新幹線の延伸計画の中止や見直しを求めることも必要と

思うが町長の考えは、

答 (町長) 現行の小

浜・京都ルートが最適であり、計画の中止や見直しを求める考えはない。引き続き、京都府民に対し科学的根拠に基づいた丁寧な説明を行い、懸念を払拭して課題の解決と一日も早い着工、開業を国や関係機関に対して強く要望していく。

教育行政の充実に
ついて

問 本町のICT教育の実態を、利用時

間も含めて示してもらいたい。

答 (教育長) 本町の

ICT教育については、GIGAスクール構想のもと、全ての小・中学校で、電子黒板や児童・生徒用のタブレット端末を活用し授業を行っている。

電子黒板は、体育などの教科を除き、ほぼ毎時間の授業で活用しており、デジタル教科書や資料の提示、児童・生徒の考えの共有など、日常的な授業の基盤として使われている。一方、児童・生徒用のタブレット端末については、調べ学習や意見の共有、資料づくり、AIDRILによる個別学習など、学習内容に応じて

幅広く活用している。

利用時間については授業全体の3割から5割程度で、デジタルとアナログの双方を目的に応じて使い分けている。特に、漢字や計算の反復練習、既習事項の定着、ノートにまとめる活動など、書くことで理解が深まる内容については、ノートと鉛筆を使った従来の学習方法を重視している。また、タブレット端末を活用することで、児童・生徒全員の意見を瞬時に共有できたり、表現が苦手な児童の伝達手段として役立ったり、他校との交流が容易になるなど、ICTならではの学習効果も確認されている。



若者の出会いや結婚などの支援制度
の見直しについて

問 現行の結婚につな

げる諸制度は年齢制限を設けている。晩婚化が進み、ジェンダー平等などの動きもあり見直しが必要と考えるが、

答 (住民窓口課長)

若者出会い交流応援事業などの年齢制限は、内容や年齢要件など運営団体との協議で決めている。

現行の結婚につながる諸制度については、晩婚化や少子化対策に主眼を置いており、また国や県の補助金についても年齢要件を満たす必要がある。

追跡!

一般質問の 行方

あれから どうなったの?

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



県補助を活用した 子どもの遊び場の計画は

全天候型こどもの遊び場整備は事業期間が迫っている。地域バランスも考慮すると名田庄地域が望ましいが、その進捗は。

(令和4年9月議会 原田 議員)

(令和5年12月議会 堤 議員)



答 弁

検討会を開催し 令和8 年度末完成を目指す

まだ具体化していないが令和6年度に検討会を開催し令和8年度末完了を目途に進める。



どうなった?

令和8年度に整備 (名田庄地域)

町内地域バランスから、名田庄三重地域の崎山会館を改築整備することになりました。

(令和8年度完成予定)



通学路の安全対策 (早期着手、完成)

通学路の変更を予定している、西街道本郷トンネル付近の対応状況は。

(令和5年9月議会 寺井 議員)



答 弁

学校教育課長

歩道・横断歩道が整備できれば通学路を変更する。

建設課長

歩道などの工事期間は、一般的には調査設計に1年、工事に1年の2ヶ年程度必要。



どうなった?

令和7年1月に通学路を変更

生徒の安全を最優先に取り組まれたことにより、一般質問時に聞いていた整備期間より、早期の完成となった。



通学路の安全対策 (早期着手、完成)

西街道本郷トンネル付近の通学路整備状況は。

(令和5年12月議会 辻 議員)



答 弁

歩道設置工事の設計を 今年度末(R5年度)に 完了予定

その後、工事の施工と併せ横断歩道の設置を行い、完了後に通学路の変更を学校に助言する。



どうなった?



輝^{かがや}子^こども^{ども}たち

本郷こども園

元気で、思いやりがあり、
話の聞ける園児たち

今回は本郷こども園の園児さんたちです。

はじめに 園の紹介

Q 教育や保育の目標を教えてください。

A 「元気に遊べる子」「思いやりのある子」「話が聞ける子」を保育目標とし、日常の目標に、太鼓を教具に取り入れ、「人の話を聞く・話す人の顔を見て聞く」ことのできる保育に取り組んでいます。

Q 保育の方針や、独自の取り組みはありますか。

A 裸足保育を取り入れ、健康な体作り、大型遊具で、全身運動と同時にルールを守って遊ぶ力を学ばせています。

虫さんいるかな～？
かわいいお花
みつけたー！

何作る～？

みんなで
上手に
あるけるよ

おっとっと！
上手に
登れるよ

園庭遊び
だーい好き！

どれにしようかな～？

風船いっぱい！
たのしいな～★

盆踊り
楽しいな♪

クイズタイム！
これなーんだ？

よーいドン！まてまて～

取材に行った日は幼児音楽リズム発表会が終わった後でしたが、快く対応していただきありがとうございました。独自の取り組みも多く、保育士さんご苦労様です。
次回は大島認定こども園の紹介をしたいと思っています。

Q 異年齢児との関わりを教えてください。

A 朝夕の自由遊びの時間は、全園児が一緒に過ごし、慕い、可愛がり、思いやりの気持ちを学ばせています。

Q 運営面で困ったことなどを教えてください。

A 他の園と同様に、保育士さんのなり手不足で、確保に苦労することがあります。

また、施設建設後約30年が経過し、全面的な改修を計画する時期を迎えており、大きな課題となつてきています。

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。
次回の定例会議は3月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

3月
定例会議の
予定

会 期：2月25日から3月17日まで（21日間）
本会議：2月25日（議案提案理由説明）、3月12日（一般質問）、3月17日（採決）
委員会：予算決算常任委員会（2月25日～27日、3月2日、3月5日）
総務・産業建設常任委員会（3月3日）
台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会（3月10日）

編集後記

新しい一年が始まりました。
日頃から「議会だより」を手に取っていただき、ありがとうございます。皆さまの暮らしに少しでも寄り添えるよう、議会情報を分かり易くお届けしたい思いで委員一同、紙面づくりに工夫を重ねています。皆さまの声が、よりよいまちづくりにつながっていくと信じています。

おい町は農林水産業や商業、そして国の電力を支える原子力発電所など、多様な産業に支えられています。

一方で、人口減少や安心の確保など、向き合ふべき課題があります。議会としても地域の力を未来につなぐため、皆さまと一緒に取り組みを進めてまいります。

本年も皆さまがいそいそと幸せに暮らせることを願っています。
（堤 記）

広報特別委員会

委員長	細川 正博
副委員長	中西 秀和
委員	堤 満也
委員	田中 秀樹
委員	高本 和良
委員	寺井 義孝
書記	山口 将史